

倉吉市上水道施設耐震化・更新計画

倉吉市では、自然災害などによる被害を最小限にとどめる強い水道を理想に掲げる「新水道ビジョン（厚生労働省：H25）」や「水道の耐震化計画策定指針（同省：H27）」を受け、耐震化の重要性に鑑みて、令和3年度から令和22年度までの上水道施設耐震化・更新計画を策定しています。

1. 倉吉市上水道施設耐震化・更新計画の主な内容

(1) 管路の耐震化・更新計画

[目的]

- ・ 管路の計画的更新や耐震化に努め、災害時における安定供給の確保を行う。

[主な内容]

- ・ 基幹管路（全体 383km のうち 158km）を指定し、更新の優先順位及び時期を決定した。
- ・ 基幹管路は、毎年事業費 2 億円をかけて年間 2.3km の耐震化を図る。
令和 22 年度の基幹管路の耐震適合率目標値は 40%。

※基幹管路 …水源地や配水池を連絡する管路や、重要給水施設である病院、防災拠点、避難所等を連絡する管路
耐震適合率…管路の耐震性のある割合

[直近の状況]

- ・ 令和 6 年度末の基幹管路の耐震適合率は、15.6%（24.5km/157km）

(2) 施設の耐震化・更新計画

[目的]

- ・ 施設の計画的更新や耐震化に努め、災害時における安定供給の確保を行う。

[主な内容]

- ・ 水源地や配水池等主要施設の耐震診断を実施する。診断結果に応じて耐震補強又は更新工事等を決定し、耐震化を図る。
- ・ 上井配水池は、耐震診断の結果から新設を行う。